

# 宗祐寺

(榛原萩原)



聖徳太子が開基した宗祐寺。太子がここを訪れ殺生戒を説き、地藏菩薩を収められたのが始まりと伝えられています。天承の頃(1131)には融通念佛宗の開祖 良忍(りょうにん)がこの聖地を訪れ、融通念仏を広められました。

永祿2年(1559)には織田信長の家臣、服部宗祐が入堂し、信長の支援を得て、信徒の浄財により堂宇を再建。以来、大和国南部の四郡に末寺50か寺、檀信徒3千軒を得るまでになりました。

また、明治18、30年に住職を務めた得善上人が残した日記から奈良や京都を中心に全国的に行われた宝物調査で、明治21年6月に、思想家で文人岡倉天心らとともに米国人の美術研究家、フェノロサも宗祐寺を訪れていたこともわかっています。

- ▼ 寺宝の「木造多聞天立像」(平安時代作)。「絹本著色仏涅槃図三幅」(鎌倉時代作)とともに国指定重要文化財。堂内天井画「百八観音天井絵」も見事の一言。
- ▶ 6月3日開催の「あいさこいさ祭り」では「寺ロック」としてロックコンサートのステージとなります

## 今日の Pick Up 消防団女性部 活動! ~大宇陀こども園で避難指導~



5月15日、大宇陀こども園において園児120人を対象とした避難訓練を実施しました。

今回初の試みとして、宇陀市消防団女性部4名が出動。災害の際に慌てず避難する方法として、紙芝居や避難するときの約束についてわかりやすく指導しました。最後にはしっかりと聞いてくれた皆さんに、はしご車の折り紙などをプレゼント。

同女性部は2年前に発足し、現在17名で活動しています。

今後も市内のいろんな所で、防火・防災啓発活動を中心に、地域の皆さんとのふれあいを大切にし、宇陀市の安全・安心を見守っていきます。

